

日本大学工学部ものづくりアドバイザー カタログ

- ・ 氏名 ・ 齋藤 俊克 (35 歳)
- ・ 現職 ・ 日本大学工学部 建築学科 専任講師
 - ・ 主な講義科目 建築材料学 I, 建築材料実験, 建築構法 I・II
- ・ 前職 ・ (独) 日本学術振興会特別研究員 繊維補強ポ-ラスコンクリートの開発
- ・ 研究のモットー



・ 様々な建築材料やその素材の特性を見極め、環境に優しい、使いやすい、高機能性、耐久性に優れるなどをキーワードに、ロハスの工学に寄与する建築材料・工法の開発にチャレンジしています。産官学連携を積極的に行い、保有する技術・ノウハウを提供します。

企業等との連携実績および連携関心分野

- ・ 実績 (～H29)
 - 繊維補強によるポ-ラスコンクリートの耐久性の改善 (H25～27) : 科研費 (若手研究 B) 25820272
 - ポ-ラスコンクリートの静弾性係数推定法の構築 (H28～30) : 科研費 (基盤研究 C) 16K06589
 - エマルジョン処理による竹補強セメントモルタルの性能改善 (H27) : 日本大学工学部研究費
 - RC 構造物用補修材料の耐久性評価 (H22～26) : 建材メーカーからの委託研究
 - RC 構造物用表面含浸材の性能評価 (H28～29) : 建材メーカーからの委託研究
 - 高耐久性塗料の性能評価 (H26～29) : 建材メーカーからの委託研究
- ・ 関心分野
 - ポ-ラスコンクリートの性能評価及び性能改善
 - ポリマーセメントモルタルの性能評価法の構築
 - 補修用ポリマーセメントモルタルの耐久性
 - 鉄筋コンクリート構造物の補修システムの提案
 - 高耐久性塗料の性能評価

研究分野：建築材料学・コンクリート工学

- ・ 環境調和型機能性材料及びシステムの開発

今後力を入れたい分野

- ・ ポ-ラスコンクリートの性能評価及び性能改善技術の応用
- ・ 高機能性建築材料の開発と応用